

2024

発行日 毎月1日 通算発行 457号

5



協会報



今月のトピックス
奥能登会員企業の社員の方々への見舞金贈呈
人事異動に伴う着任ご挨拶
ノートパソコンの寄贈
災害復興の足音



「石川の工芸シリーズ」

「花岡コレクション」加賀染織保存会蔵

しょうちくばいほたんきくつぼぎこしよぐるまちようふりまで
松竹梅牡丹菊椿御所車模様振袖

たんぎしよ えいじ
談議所 栄二 【明治32(1899)年-昭和49(1974)年】

制作年/昭和22(1947)年頃 サイズ/幅127cm×高さ160cm

本作は昭和20年代に制作された加賀友禅引き振袖である。作者は金沢市に生まれ、12歳で加賀友禅作家・岡本光給(こうけい)に師事。大正9(1920)年に21歳で独立後、昭和4(1929)年に帝展初入選を果たした。戦後も昭和22(1947)年の日展で特選を受賞するなど日展作家として活躍。昭和30(1955)年には加賀友禅界への功績に対して金沢市文化賞が贈られた。

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

発行所 ● 一般社団法人

石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL (076) 242-1161(代) FAX (076) 241-9258

URL: <http://www.ishikenkyo.or.jp/>

CONTENTS

2024

5



《石川の工芸シリーズ⑩》
しょうちくばいばたんきくつばきごしよくるまちようふりそで
松竹梅牡丹菊椿御所車模様振袖
談議所 栄二(だんぎしよ えいじ)

1	今月のトピックス	1
	奥能登会員企業の社員の方々への見舞金贈呈	1
	人事異動に伴う着任ご挨拶	2
	ノートパソコンの寄贈	2
2	災害復興の足音	3
3	石川県土木部だより	4
	金沢城VR映像の公開について	
	石川県土木部公園緑地課	
4	令和5年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.7	6
	和田内潜建株式会社	
	令和5年度 農林水産部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.8	8
	小倉建設株式会社	
5	地区協会コーナー	10
	白山市立高速鉄道ビジターセンター 「トレインパーク白山」 オープン (一社)白山野々市建設業協会	
6	今月の「輝き！」さん No.109	11
	真柄建設株式会社 安保 純 弥さん	
7	協会だより	
	石川の建設業の雇用と経営に関する調査報告書(2023 概要版)	12
	建設技術研修所	
	新入社員向けIT研修会の開催	26
	第46回測量コンテスト開催案内	26
8	石川県総合建設業協同組合だより	
	商工中金からの感謝状受賞	27
9	関係機関からのお知らせ	27
10	2023年度第4回 建設業景況調査(石川県版)	28
	東日本建設業保証(株) 石川支店	

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

一般社団法人
石川県建設業協会
GENERAL CONSTRUCTION ASSOCIATION

- ホーム
- 協会案内
- お知らせ
- 講習会・研修会
- 協会報
- 指名競争入札参加
- お問い合わせ

今月の「輝き！」さん

現場で活躍する
女性はカッコイイ

建設共済保険

建設共済保険

建設業労働災害防止協会
石川支部

未来を創り、ふる里を守る
建設産業

Facebook Twitter Instagram YouTube

ホームページをご覧ください

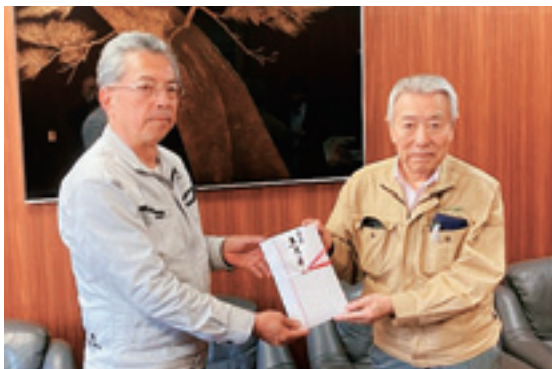
今月のトピックス

奥能登会員企業の社員の方々への見舞金贈呈

4月12日(金)、県建設業協会は、能登半島地震発災後、全国建設業協会及び全国の都道府県建設業協会等30団体から寄せられた義援金・見舞金を本格的な復旧・復興工事を控え、現場最前線で活動している担い手の生活再建支援の一助として、奥能登地区（鳳輪建設業協会及び珠洲建設業協会）会員企業の社員の方々661名（36社）に対して、一人当たり10万円を見舞金として贈呈しました。

平櫻 保会長は、「これまでに経験のない規模の復旧・復興工事を控えているが、皆さんからは“負けられない・頑張らなければ”との気概が感じられる。全国からの応援を受け頑張ってもらいたい。」と激励し、鳳輪建設業協会において高木作之会長に、珠洲建設業協会において明星加守暢会長に、見舞金（目録）を贈りました。

高木会長は「全国からの温かい支援をしっかりと伝えていきたい。」と感謝を述べられ、明星会長は「地元を何とかしたいという思いで会員企業は必死に工事に携わっている。」と述べられました。



鳳輪建設業協会



珠洲建設業協会

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| (一社) 全国建設業協会 | (一社) 千葉県建設業協会 | (一社) 大分県建設業協会 |
| (一社) 北海道建設業協会 | (一社) 山梨県建設業協会 | (一社) 長崎県建設業協会 |
| (一社) 岩手県建設業協会 | (一社) 長野県建設業協会 | (一社) 宮崎県建設業協会 |
| (一社) 福島県建設業協会 | (一社) 新潟県建設業協会 | (一社) 熊本県建設業協会 |
| (一社) 宮城県建設業協会 | (一社) 岐阜県建設業協会 | 全国建設業協同組合連合会 |
| (一社) 茨城県建設業協会 | (一社) 愛知県建設業協会 | (公財) 建設業福祉共済団 |
| (一社) 栃木県建設業協会 | (一社) 三重県建設業協会 | (一財) 建設業振興基金 |
| (一社) 群馬県建設業協会 | (一社) 京都府建設業協会 | 東日本建設業保証(株) |
| (一社) 埼玉県建設業協会 | (一社) 滋賀県建設業協会 | 余市建設業協会 |
| (一社) 東京建設業協会 | (一社) 広島県建設業協会 | (株) 嚆矢組 |

(以上30団体、順不同)

人事異動に伴う着任ご挨拶

本年4月1日付けで、石川労働局長に就任された八木健一氏以下、石川労働局幹部が、4月25日(木)、県建設業協会を訪問され新任のご挨拶をいただきました。

県協会では、平櫻 保会長以下、役員が出迎えました。

八木局長は挨拶で「能登半島地震に伴う建設工事について、従事する方々の安全と健康を確保しつつ復興が進むよう県建設業協会と情報共有してまいりたい。」と述べられました。その後、労働時間規制や担い手確保等の諸課題を中心に懇談が行われました。



石川労働局幹部の皆様

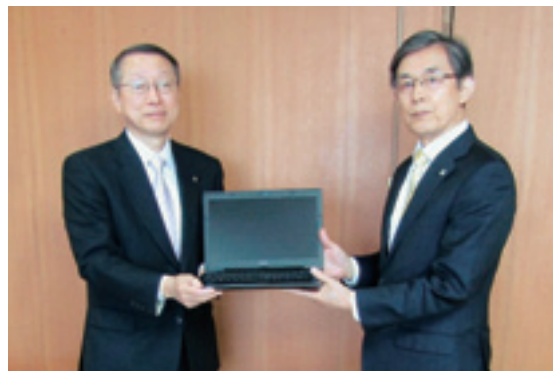
(来訪された石川労働局幹部)

- | | |
|-------------------|---------|
| ・石川労働局長 | 八木 健一 氏 |
| ・石川労働局労働基準部長 | 細貝 浩之 氏 |
| ・石川労働局労働基準部健康安全課長 | 宮田 玄彦 氏 |
| ・石川労働局労働基準部監督課長 | 平山 和彦 氏 |

ノートパソコンの寄贈

4月11日(木)、株式会社アイサスの百成公鋭代表取締役が、同社広報部の北川寛大氏と県建設業協会を訪れ、「被災地の復興支援や業務再開の一助として役立ててください。社会インフラを支える企業として、被災された皆様がスムーズに業務を再開できるように引き続きサポートしてまいります。」とのお言葉とともに、ノートパソコン20台の寄贈を賜りました。

当協会では、各地区協会ほか希望する会員企業に配布するなど、有効に活用いたします。



“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業



災害復興の足音

応急仮設住宅の建設

石川県では市町の要請に基づき応急仮設住宅の建設を進めていますが、石川県建設業協会の会員企業が木造仮設住宅の建設に尽力しています。



輪島市三井町で建設中の木造仮設住宅【施工：宏州建設(株)】

木造仮設住宅は、住宅用地として長く利用できる場所に建設し、「応急仮設住宅」としての利用を終えた後も「市町所有の住宅」として利用されることを見据えたものとして計画されています。

また、これらの利用の後に「住宅再建が困難な方が購入」することを想定したタイプも準備されており、地元との合意形成が図られた場合に建設されることとなっています。



輪島市三井町木造仮設住宅イメージ
(提供：石川県土木部建築住宅課)



輪島市門前町道下で建設中の木造仮設住宅【施工：みづほ工業(株)】

石川県建設業協会では、行政と連携を取りながら一刻も早い復旧・復興に向け、引き続き各種業務に従事してまいります。

がんばろう能登！ がんばろう石川！

石川県土木部だより

金沢城VR映像の公開について

石川県土木部公園緑地課

1 はじめに

金沢城は、江戸時代を通じて最大の大名であった加賀藩前田家の居城となった近世城郭であり、現在では金沢城公園として、兼六園と並ぶ観光・交流の拠点となり、多くの方に親しまれています。

江戸時代の金沢城には、現存する石川門などの他にも多くの建造物があり、二の丸には、加賀藩の政治・文化の中心としての役割を担った、城内最大の建造物である二の丸御殿が存在していました。その豪華絢爛な二の丸御殿をはじめとする金沢城の魅力をわかりやすく伝えるツールとして、金沢城の外観及び二の丸御殿の内装を、VR（仮想現実）技術を用いて再現しました。



VRで再現した江戸時代後期の金沢城（二の丸一帯）

2 制作範囲

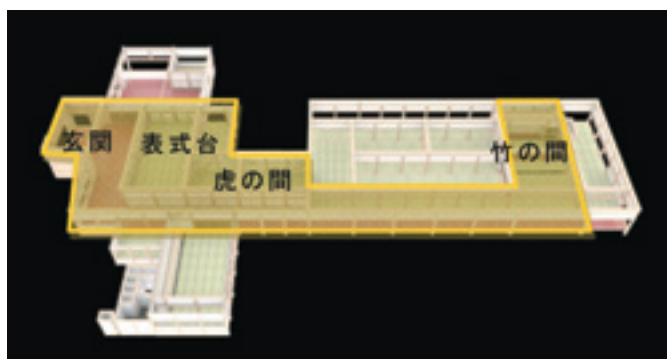
- ・金沢城全体の外観
時代設定は江戸時代後期（1860年頃）
- ・二の丸御殿内部の一部
玄関、表式台、虎の間、竹の間
障壁画や金箔貼りの壁も再現



玄関



虎の間



二の丸御殿内部制作範囲

3 鶴の丸シアター

園内のガイダンス拠点である鶴の丸休憩館の展示室を「鶴の丸シアター」として改装し、北陸新幹線県内全線開業に合わせ、令和6年3月16日にオープンしました。

シアターでは、VRを活用したPR映像「よみがえる金沢城二の丸御殿」（約10分間）を放映しています。金沢城の成り立ちや二の丸御殿の構成、内部の障壁画や飾金具などの美しい意匠を紹介しており、金沢城や二の丸御殿への理解を深めることができる内容となっています。

また、シアターでは他にも「石垣の博物館」と称される金沢城の石垣について解説した映像なども放映しています。



鶴の丸シアター



PR映像



映像では金沢城の成り立ちや、二の丸御殿の装飾などを紹介（英語字幕付き）

4 スマートフォンアプリの配信

屋外でもVRを体験できるよう、スマートフォンアプリの配信を行っています。金沢城公園内に3箇所設置したVRビューポイントでは、二の丸御殿のVR映像をスマートフォン越しに見ることができ、往時の姿を楽しむことができます。



VRビューポイントは二の丸情報館前、五十間長屋内、本丸附段の3箇所に設置

5 おわりに

鶴の丸シアターでは、あたかも江戸時代にタイムスリップしたような臨場感の中で、加賀百万石の栄華の象徴といえる二の丸御殿の大きさや美しさを堪能することができます。

今後も、金沢城や二の丸御殿の魅力を感じていただける情報発信に努めてまいりますので、ご来園の際は是非アプリをダウンロードして、鶴の丸シアターにお立ち寄りください。

令和5年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.7

施工企業名：和田内潜建株式会社

■工事名 一般県道 百海七尾線 地方道改築
工事（城山橋A1橋台工）

■工事分野 河川・道路構造物工事

■施工場所 七尾市天神川原町 地内

■工事概要

橋梁下部工

橋台工（逆T式鉄筋コンクリート橋台 H=3.1m）

N=1式

基礎工（鋼管ソイルセメント杭 ϕ 1,000mm L=9.9m）

N=3本



完成

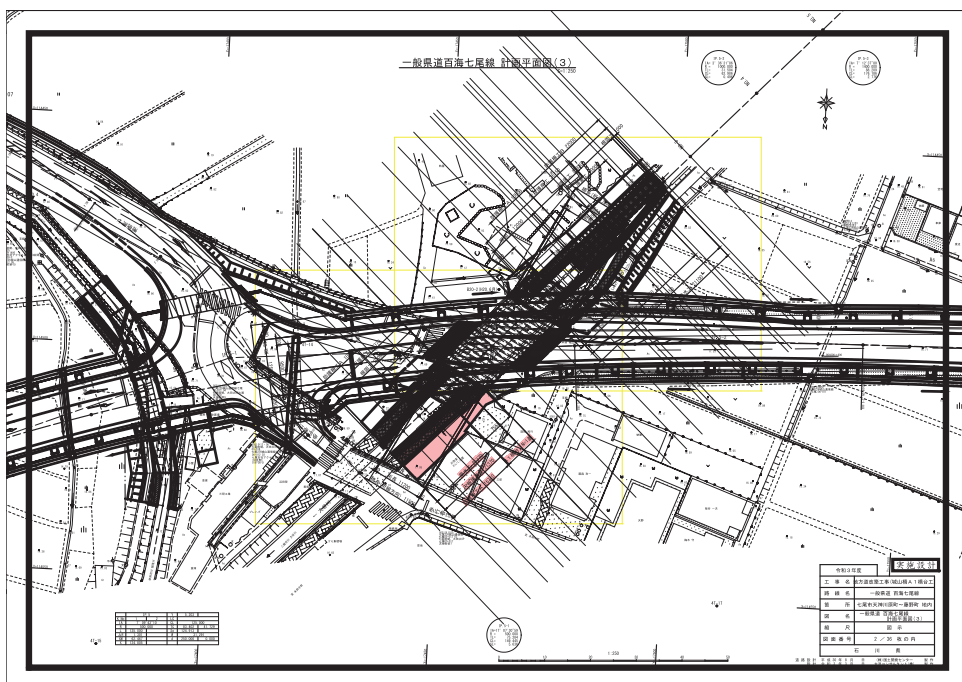
■工期 令和3年8月4日～令和4年6月30日

■推薦理由

本工事は、一般県道百海七尾線（七尾外環状道路）において大谷川を渡河する城山橋の下部工事。

下部工の施工にあたっては、杭の正確な位置と鉛直性を確保するため、杭打機の水平管理と杭の鉛直管理を作業員2名でダブルチェックを行いながら施工し、鋼管杭の沈下防止措置としてソイルセメント杭が十分に固結するまで口元管を保持するなど品質確保に努めた。

また、施工箇所は住宅に近接しているため、ゴム製キャタピラの重機の使用や発動発電機に防音シート、吸音材を設置するなど施工時の騒音・振動対策にも配慮したほか、周辺地域の美化活動も積極的に行い、苦情なく工事を完了させた。



全体図



仮設構台設置



型枠撤去時



鉄筋組立

■現場代理人等のコメント



現場代理人等
松江重好氏

この度は令和5年度石川県優良建設工事知事表彰を賜り誠にありがとうございます。これも、発注者の石川県はもとより中能登土木事務所監督員のご指導とまた近隣住民、工事に携わった関係者の皆様のご協力の賜物です。

この工事は県道拡幅工事に伴う橋台を限られたスペースで製作する工事で対面に別発注の橋台工、背面には住宅が立ち並び、また近隣の小中高や保育園の通学路も隣接する為、安全はもとより振動・騒音対策に重点を置き無振動施工機械が対応できるものは極力使用し近隣住民等とは綿密にコミュニケーションを取り円滑に作業を進めることができました。

今後もこの賞の受賞に驕ることなく一層の努力をし工事に携わっていきたいと思います。

令和5年度 農林水産部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.8

施工企業名：小倉建設株式会社

■工 事 名 令和4年度 老朽ため池整備事業（防災対策型） 神子原ダム地区 底樋補修工事

■施 工 場 所 羽咋市神子原町 地内

■工 事 概 要
底樋補修工 L=146m

■工 期 令和4年8月30日～令和5年3月24日

■推 薦 理 由
濁水流出防止と交通安全対策を求められるダム底樋補修工事

本工事は、老朽化したダム底樋の補修工事であり、表面被覆前の高圧洗浄による劣化剥離物や堆積土砂などの下流河川への流出防止対策が必要であった。またダム堤頂が市道となっており、そこから工事箇所への出入りに際して一般車両に対する交通安全対策が必要であった。

濁水流出対策としては、底樋トンネル中央部に土のう設置、出口部にろ過装置を設置し、下流への濁水流出を防止するとともに、洗浄前に一定程度の劣化部を直接除去するなどの工夫を行った。交通安全対策としては、通勤・通学時間帯の出入りを避けるとともに、点滅灯付きのバリケード設置などの工夫を行った。

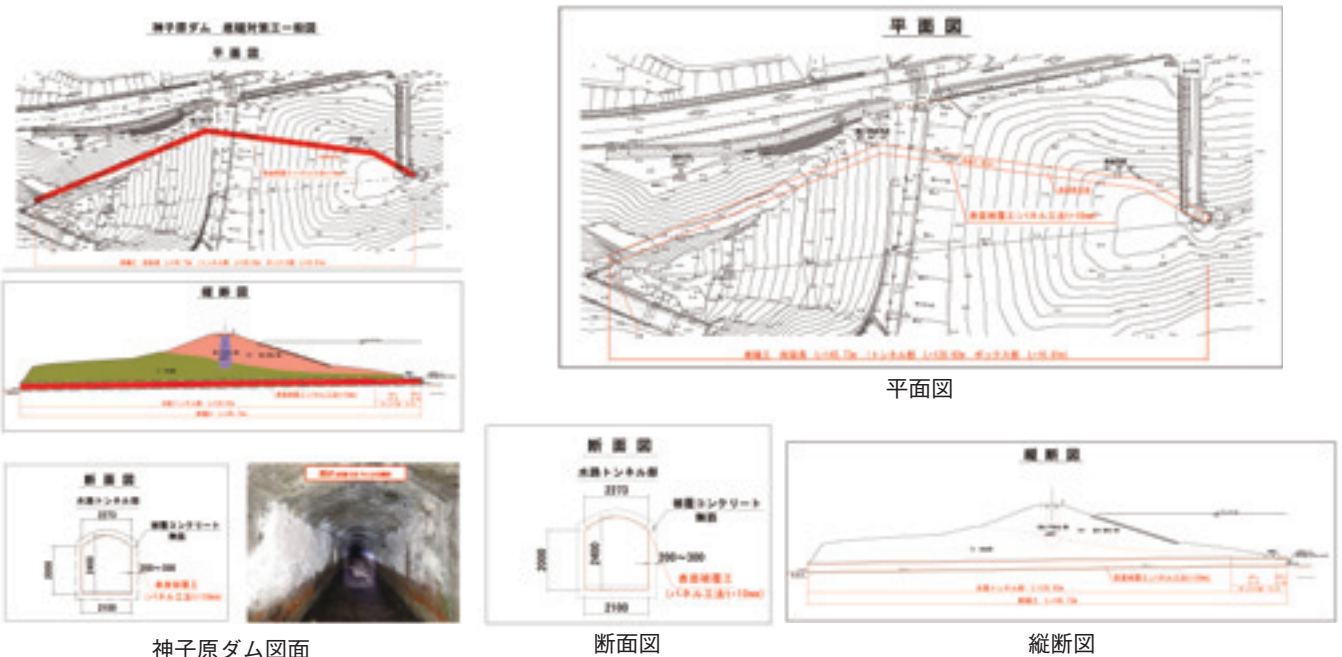
当工事では、高圧洗浄時に劣化の著しい箇所から漏水が発生し、その処理を行いながらの難工事となったが、適切な工程調整により無事工期内に完了した。



着工前



完成





濁水処理対策①



濁水処理対策②



漏水対策



高圧洗浄状況



地元見学会



施工状況

■現場代理人等のコメント



現場代理人等
山田 誠氏

このたびは、令和5年度石川県農林水産部優良建設工事知事表彰を賜り誠にありがとうございます。工事に関してご指導いただきました中能登農林総合事務所、羽咋農林事務所の皆様、地元の方々、工事関係者の皆様には、大変お世話になり心より感謝申し上げます。

本工事は、老朽ため池整備事業の一環で、総延長 L=146m、幅 W=2.1m、高さ 2.0mと狭く長いダム底樋内の補修工事であり、あまり前例のない高耐久性レジンコンクリートパネル (t=10mm) を貼付け、老朽化した壁面をリフレッシュさせ耐久性向上に特化した施工が特徴です。

現場の堤頂道路は、片側一車線の狭い市道であり付近には集落があるため、工事車両・重機ヤードは堤体法面部を大型土のう等で仮盛土を行い、一般車両の通行の妨げとならないよう対策を講じました。また、冬期間中であったため路肩にポールを立て高い位置に点滅灯を備え路肩表示したほか、除雪等をこまめに行い一般通行車両への配慮に心がけました。

施工は、既設構造体とレジンコンクリートパネルを一体化させるため、最初に壁面の高圧洗浄作業を行うのですが、終点側ダム付近で激しく劣化した箇所から漏水が発生するアクシデントがありました。最初は、速乾セメントで止水を試みましたがなかなか止水できず時間が経つにつれ水圧が増してきたため、止水を断念しバルブ付きのホースを挿入し、排水したまま施工を進めることにしました。施工中の排水処理は、底樋内に2箇所土のうで土砂溜を設け溜まった土砂の清掃を行ったほか、下流部に濁水処理フィルターを配置し汚濁水の原因となる土砂等を沈殿、ろ過させ濁水流出防止対策を施し、工期内に無事竣工する事ができました。

今後も本工事で学んだことを活かし、より良い品質で安全な工事を心がけ地域の皆様に安心していただきたいと思っております。

地区協会コーナー

白山市立高速鉄道ビジターセンター 「トレインパーク白山」 オープン

(一社)白山野々市建設業協会

北陸新幹線金沢－敦賀間延伸開業に合わせ、「トレインパーク白山」がオープンしましたので、ご紹介いたします。

北陸新幹線を間近で楽しめる白山市の観光施設「トレインパーク白山（白山市立高速鉄道ビジターセンター）」が、3月16日の北陸新幹線金沢－敦賀間の延伸開業より一足早い3月13日にオープンしました。初日から、多くの家族連れや鉄道ファンらでにぎわっています。

JR西日本の白山総合車両所に隣接し、1階の新幹線の歴史や部品に触れられる「新幹線 学びと体感エリア」には運転シミュレーターがあり、家族連れが北陸新幹線の運転を体験しています。また、特別車両「グランクラス」のシートが展示され座り心地を体験できます。3階には大型遊具を設置した「こども あそびエリア」、4階の「新幹線 見学エリア」では新幹線を整備する様子が常時見学でき、5階の「屋上 展望室エリア」では走行する北陸新幹線の撮影ができるなど、鉄道ファンのみならず大人から子供まで楽しめる観光スポットとなっていますので、是非お越しください。

【施設概要】

- 1階：新幹線 学びと体感エリア
観光情報 おみやげエリア
- 3階：こども あそびエリア
- 4階：新幹線 見学エリア
- 5階：屋上 展望室エリア

【営業時間】

午前9時から午後5時

【定休日】

水曜日（祝日の場合翌日）、年末年始（12/29～1/3）

【入場料】

大人500円 子ども（中学生以下）無料



全景



1階 新幹線 学びと体感エリア

W7系新幹線の実物運転台を用いた大型運転シミュレーター



4階 新幹線 見学エリア

新幹線の点検の様子が常時見学できる見学デッキ



5階 屋上 展望室エリア

疾走する新幹線を間近で見ることができます

今月の「輝き！」さん

No. 109



真柄建設株式会社 あぼじゅんや 安保純弥さん

所属：工事部工事課
経験年数：3年
年齢：25歳

能美郡川北町の現場事務所に「今月の輝きさん」を訪ねました。

—あなたの会社について教えてください。

当社は、明治40年創業、昭和18年設立で、建築・土木に取り組んでいる総合建設業です。従業員数は、北陸・関西・関東地区を合わせて253名です。私は、北陸建築事業部工事部工事課に所属し、現在は川北町の共同住宅新築工事の施工管理に携わっています。

—建設業を選んだ理由、入社の一動機等について教えてください。

大阪の大学で建築を学び、「活かせる仕事をしたい。」と思い施工管理職を選びました。真柄建設は、就職セミナーで大阪に事業所がある会社として知り、諸条件を勘案して選びました。

—これまでで思い出に残る現場、苦勞した現場はありますか？

入社1年目に配属された役所建物の建築工事現場が特に印象に残っています。

何もわからない状態ですから、年が離れた上司に色々教えてくださいながら、現場仕事を覚えていき、何とか最後までやりきれた現場でした。

—仕事の苦勞や、やりがいを感じるのどのようなときですか？

大阪ではなく石川県金沢市での勤務となり、初めての土地での一人暮らしですし、出身が兵庫県ですから方言で話されると理解できないことがあります。また、自分にとっては当たり前ではないと思うことが、当たり前のように言われることがあり、叱られることも多々あるので、仕事を覚えるのに苦勞しました。そのような日々の中、自分が段取りを行ったことが計画どおりに進み、問題なく現場を終えられた時にやりがいを感じています。苦勞はありますが、現場を重ねるごとに着実にステップアップしていると感じています。

—将来の夢、目標は？

今はこれという明確なものはないのですが、やはり、出身地である関西圏で仕事がしたいと思い、日々、頑張っています。

—休日はどのように過ごしていますか？

普段はオンラインゲームをしたりテレビを見て過ごしていますが、気に入る様なりサイクル品やマンガ本がないか店を回ることもあります。

—最後に建設業を目指す後輩たちに一言。

石川県は食べ物美味しいですよ。県外で就職を考えている方、特に関西の方は個人的に大歓迎です。一緒に働ければ嬉しいです。



けんせつ一番星☆

[-Sunset Express-MOVE]
毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。是非お聞きください。

今月放送

5月28日(火)

協会だより

石川の建設業の雇用と経営に関する調査報告書(2023 概要版)

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、建設業界の雇用の改善や若手技術者・技能者の入職・定着を促す方策を検討する基礎資料とすることを目的に、建設業の雇用実態や経営状況について調査を実施したものである。

(2) 調査の対象

一般社団法人石川県建設業協会の会員企業（大手企業は除く）

対象企業：208社

回答数：146社（回答率：70.2%）

(3) 調査の実施期間

令和5年8月21日～令和5年9月22日

(4) 調査の項目

①会社概要

②雇用について

③常用雇用者である現場職員（技術者・技能者）の賃金について

④建設現場における働き方改革（休日拡大と労働時間）について

⑤建設業における女性の定着促進について

⑥事業承継について

⑦採算性について

⑧発注者の対応について

⑨経営環境の見通しについて

⑩今後の建設業のあり方について（自由回答）

（注）各設問における回答の構成比の合計は、四捨五入の関係で100%にならない場合がある。

(5) 調査の方法

調査は（株）建設経営サービスに委託して実施した。調査票（エクセル）は会員企業宛に電子メールで依頼した。

(6) 地区の区分

会員企業の本社所在地により、「金沢地区」（金沢市）、「加賀地区」（金沢市以南の市町）、「能登地区」（金沢市以北の市町）とした。

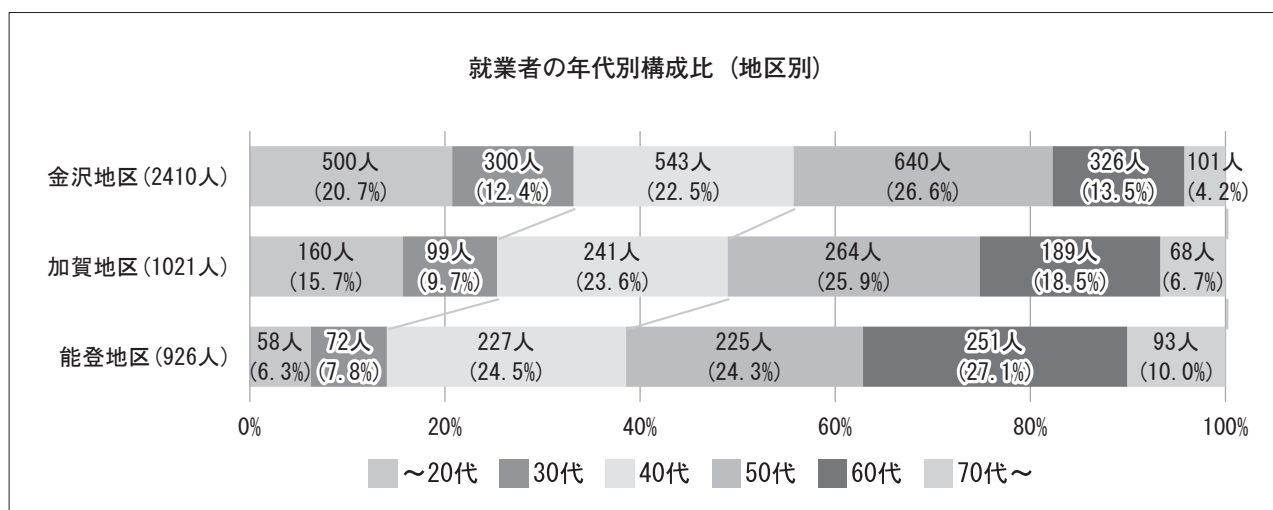
(7) 調査企業の概要

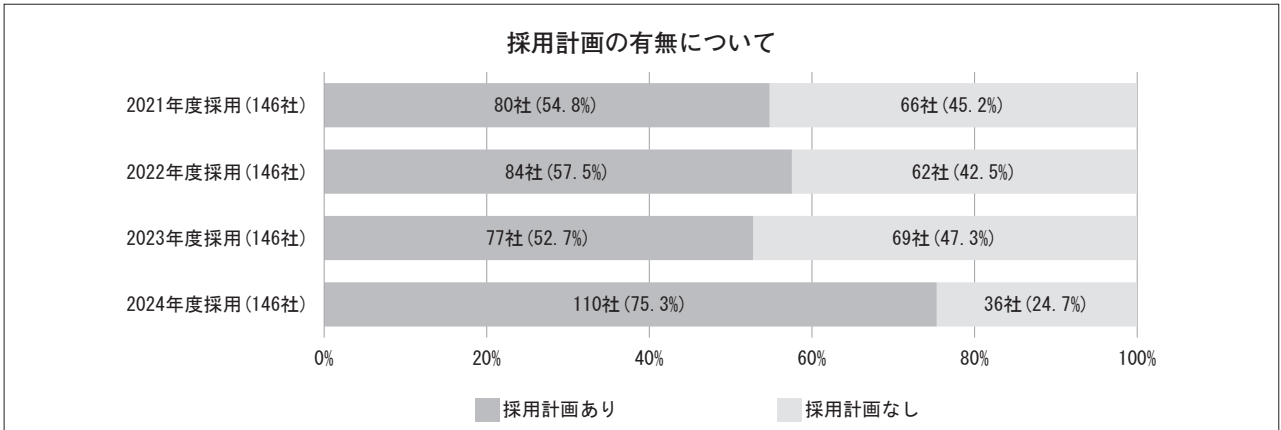
主な業種と地区

	金沢地区	加賀地区	能登地区	合計
土木	24社 (52.2%)	37社 (72.5%)	43社 (87.8%)	104社 (71.2%)
建築	11社 (23.9%)	5社 (9.8%)	1社 (2.0%)	17社 (11.6%)
土木・建築	5社 (10.9%)	6社 (11.8%)	4社 (8.2%)	15社 (10.3%)
舗装	6社 (13.0%)	3社 (5.9%)	1社 (2.0%)	10社 (6.8%)
合計	46社 (100.0%)	51社 (100.0%)	49社 (100.0%)	146社 (100.0%)

2. 雇用について

就業者数									
性別	職種	年代						合計	構成比
		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～		
男性	役員	2人	14人	84人	97人	125人	66人	388人	(10.6%)
	技術職	375人	229人	494人	532人	354人	94人	2,078人	(56.8%)
	技能職	140人	82人	152人	181人	112人	48人	715人	(19.5%)
	事務・営業職	52人	58人	99人	155人	88人	26人	478人	(13.1%)
	合計	569人	383人	829人	965人	679人	234人	3,659人	(100.0%)
	構成比	(15.6%)	(10.5%)	(22.7%)	(26.4%)	(18.6%)	(6.4%)	(100.0%)	-
女性	役員	0人	3人	12人	14人	25人	18人	72人	(10.3%)
	技術職	63人	21人	32人	25人	5人	0人	146人	(20.9%)
	技能職	15人	0人	2人	2人	1人	0人	20人	(2.9%)
	事務・営業職	71人	64人	136人	123人	56人	10人	460人	(65.9%)
	合計	149人	88人	182人	164人	87人	28人	698人	(100.0%)
	構成比	(21.3%)	(12.6%)	(26.1%)	(23.5%)	(12.5%)	(4.0%)	(100.0%)	-
男女計	役員	2人	17人	96人	111人	150人	84人	460人	(10.6%)
	技術職	438人	250人	526人	557人	359人	94人	2,224人	(51.0%)
	技能職	155人	82人	154人	183人	113人	48人	735人	(16.9%)
	事務・営業職	123人	122人	235人	278人	144人	36人	938人	(21.5%)
	合計	718人	471人	1,011人	1,129人	766人	262人	4,357人	(100.0%)
	構成比	(16.5%)	(10.8%)	(23.2%)	(25.9%)	(17.6%)	(6.0%)	(100.0%)	-



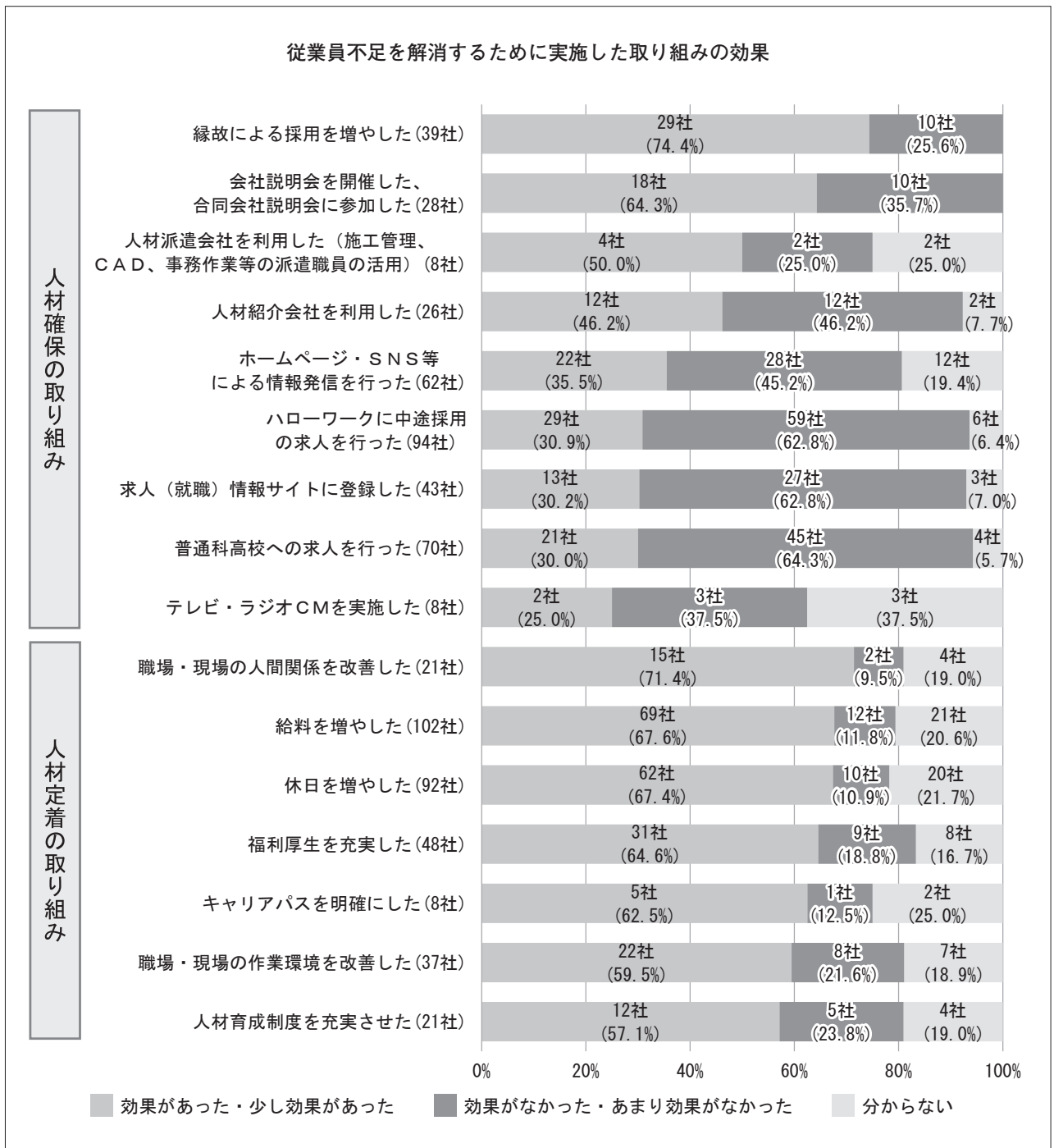
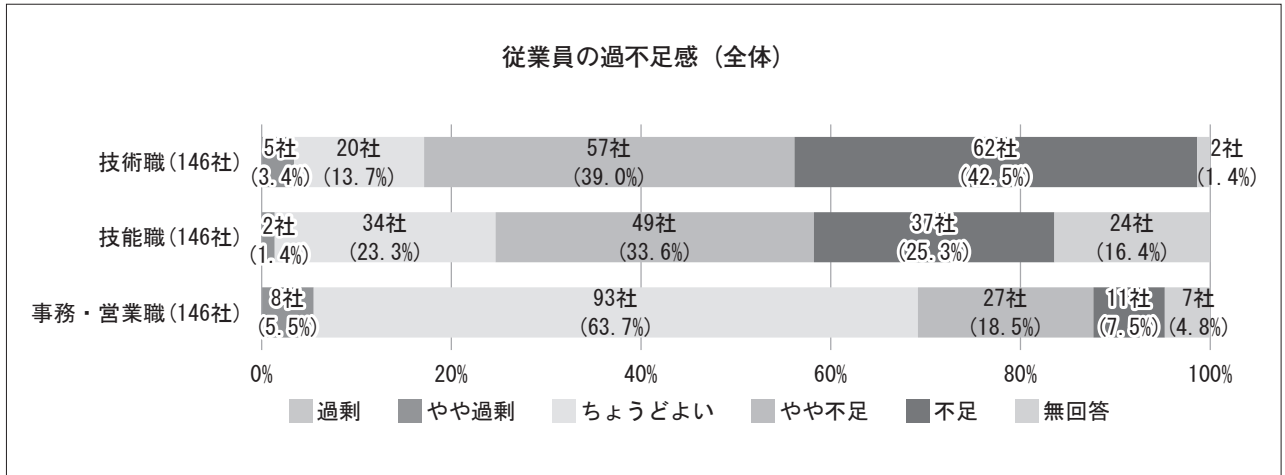


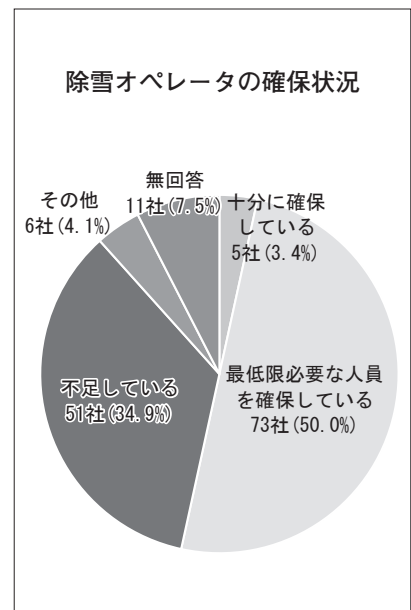
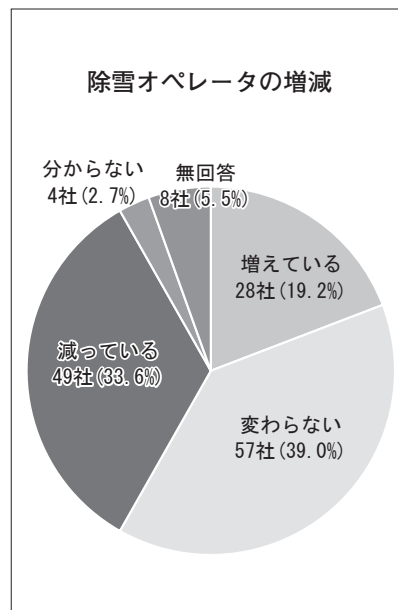
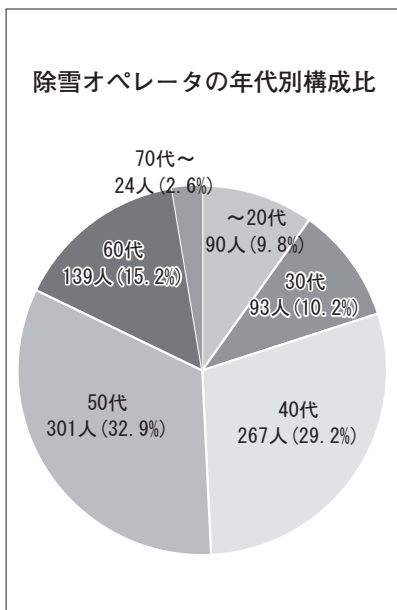
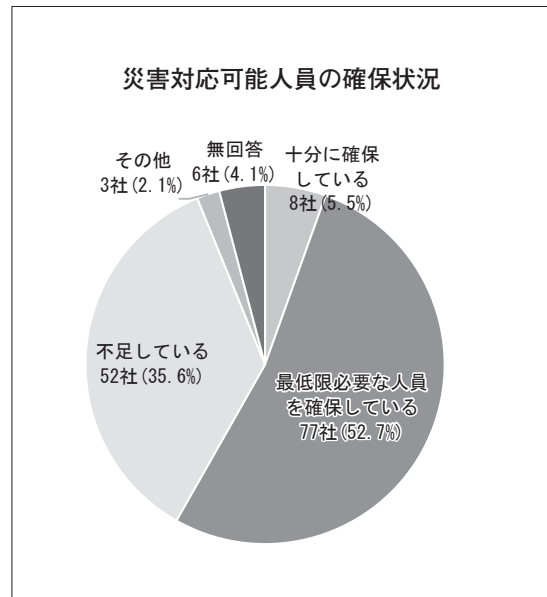
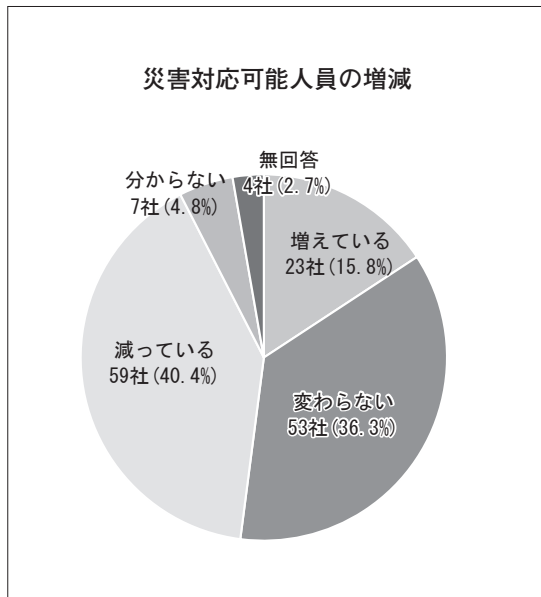
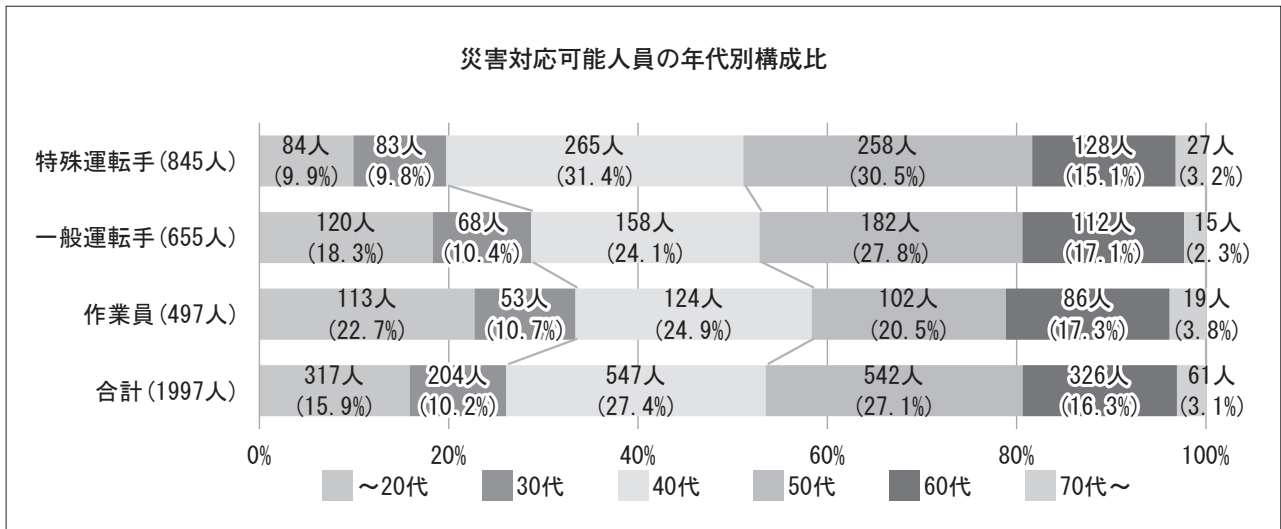
採用計画数に対する採用人数

採用区分／採用年次		2021年度採用		2022年度採用		2023年4月採用		
		採用人数／計画数	充足率	採用人数／計画数	充足率	採用人数／計画数	充足率	
技術職	新卒	高校新卒	34 / 95	35.8%	44 / 99	44.4%	34 / 93	36.6%
		短大・高専新卒	8 / 26	30.8%	7 / 25	28.0%	7 / 22	31.8%
		大学・大学院新卒	29 / 58	50.0%	27 / 47	57.4%	25 / 55	45.5%
		小計	71 / 179	39.7%	78 / 171	45.6%	66 / 170	38.8%
	中途採用	48 / 72	66.7%	41 / 72	56.9%	50 / 103	48.5%	
	技術職計	119 / 251	47.4%	119 / 243	49.0%	116 / 273	42.5%	
技能職	新卒	高校新卒	15 / 36	41.7%	11 / 33	33.3%	11 / 30	36.7%
		短大・高専新卒	1 / 2	50.0%	1 / 2	50.0%	1 / 2	50.0%
		大学・大学院新卒	1 / 3	33.3%	1 / 4	25.0%	3 / 3	100.0%
		小計	17 / 41	41.5%	13 / 39	33.3%	15 / 35	42.9%
	中途採用	30 / 31	96.8%	38 / 28	135.7%	26 / 24	108.3%	
	技能職計	47 / 72	65.3%	51 / 67	76.1%	41 / 59	69.5%	
技術職・技能職計		166 / 323	51.4%	170 / 310	54.8%	157 / 332	47.3%	
事務・営業職	新卒	高校新卒	2 / 2	100.0%	4 / 5	80.0%	8 / 10	80.0%
		短大・高専新卒	1 / 0	-	2 / 1	200.0%	0 / 1	0.0%
		大学・大学院新卒	12 / 13	92.3%	17 / 16	106.3%	6 / 11	54.5%
		小計	15 / 15	100.0%	23 / 22	104.5%	14 / 22	63.6%
	中途採用	27 / 12	225.0%	23 / 6	383.3%	12 / 21	57.1%	
		事務・営業職計	42 / 27	155.6%	46 / 28	164.3%	26 / 43	60.5%
新卒計		103 / 235	43.8%	114 / 232	49.1%	95 / 227	41.9%	
中途計		105 / 115	91.3%	102 / 106	96.2%	88 / 148	59.5%	
合計		208 / 350	59.4%	216 / 338	63.9%	183 / 375	48.8%	

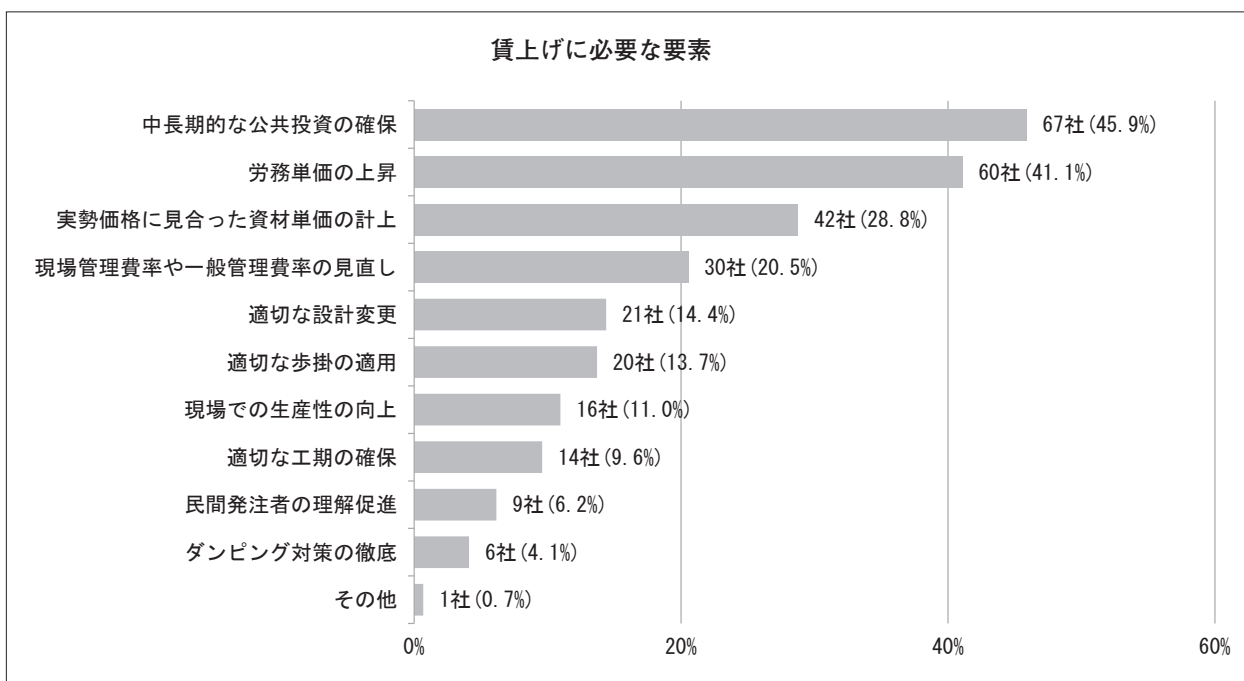
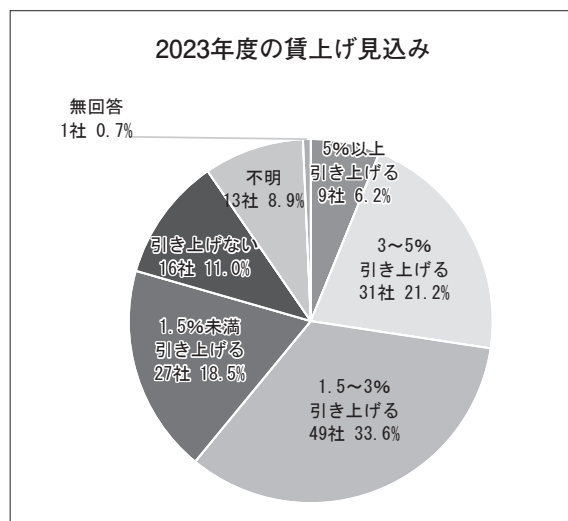
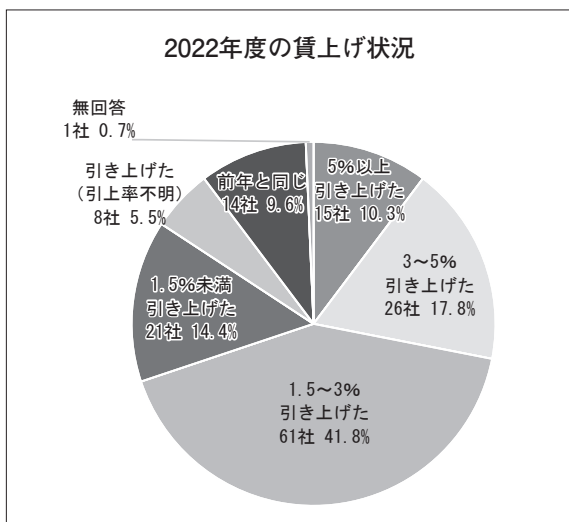
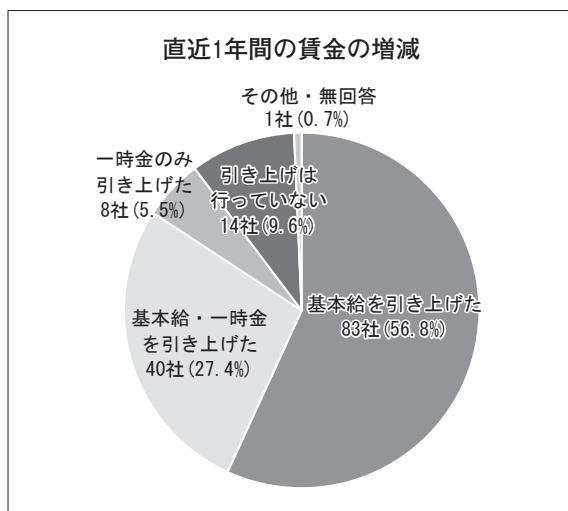
採用者の離職状況 (全体)

採用年次／採用区分			採用人数	2021年度		2022年度		2023年度		合計	
				離職者数	離職率	離職者数	離職率	離職者数	離職率	離職者数	離職率
2021年度採用	男性	男性	200人	20人	10.0%	25人	12.5%	12人	6.0%	57人	28.5%
		女性	42人	1人	2.4%	4人	9.5%	4人	9.5%	9人	21.4%
	新卒	新卒	110人	11人	10.0%	10人	9.1%	7人	6.4%	28人	25.5%
		中途	132人	10人	7.6%	19人	14.4%	9人	6.8%	38人	28.8%
	計		242人	21人	8.7%	29人	12.0%	16人	6.6%	66人	27.3%

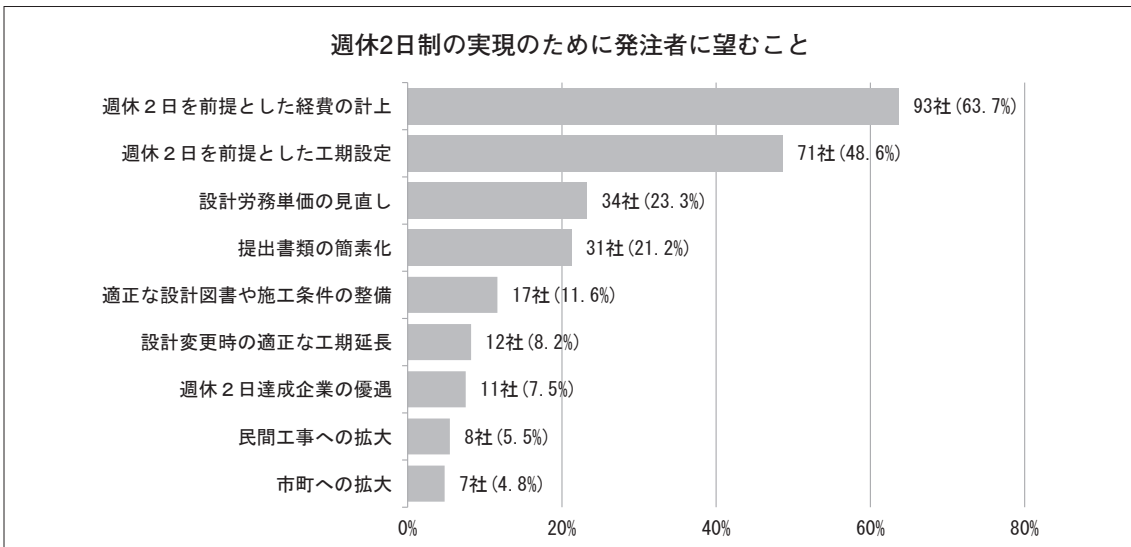
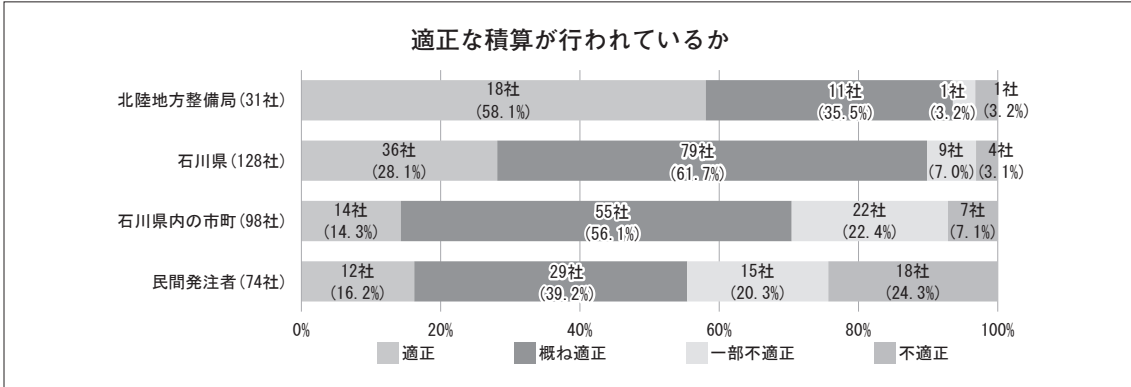
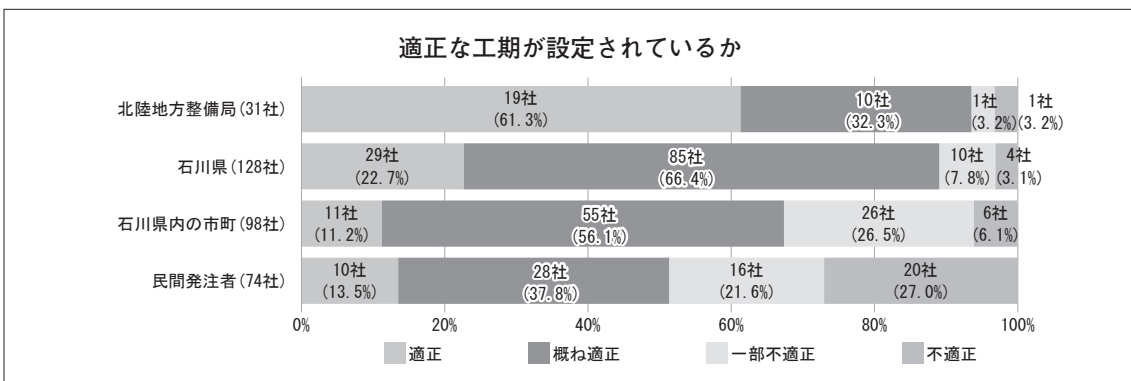
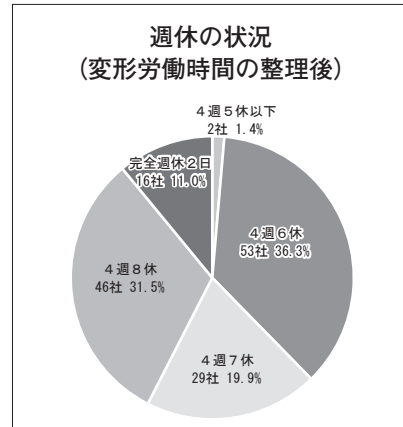
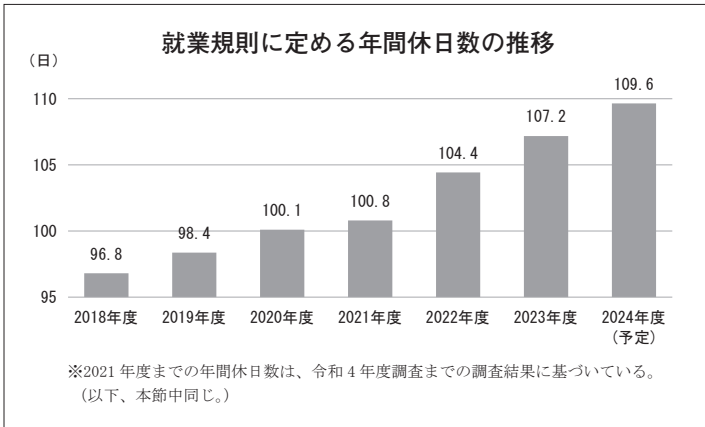


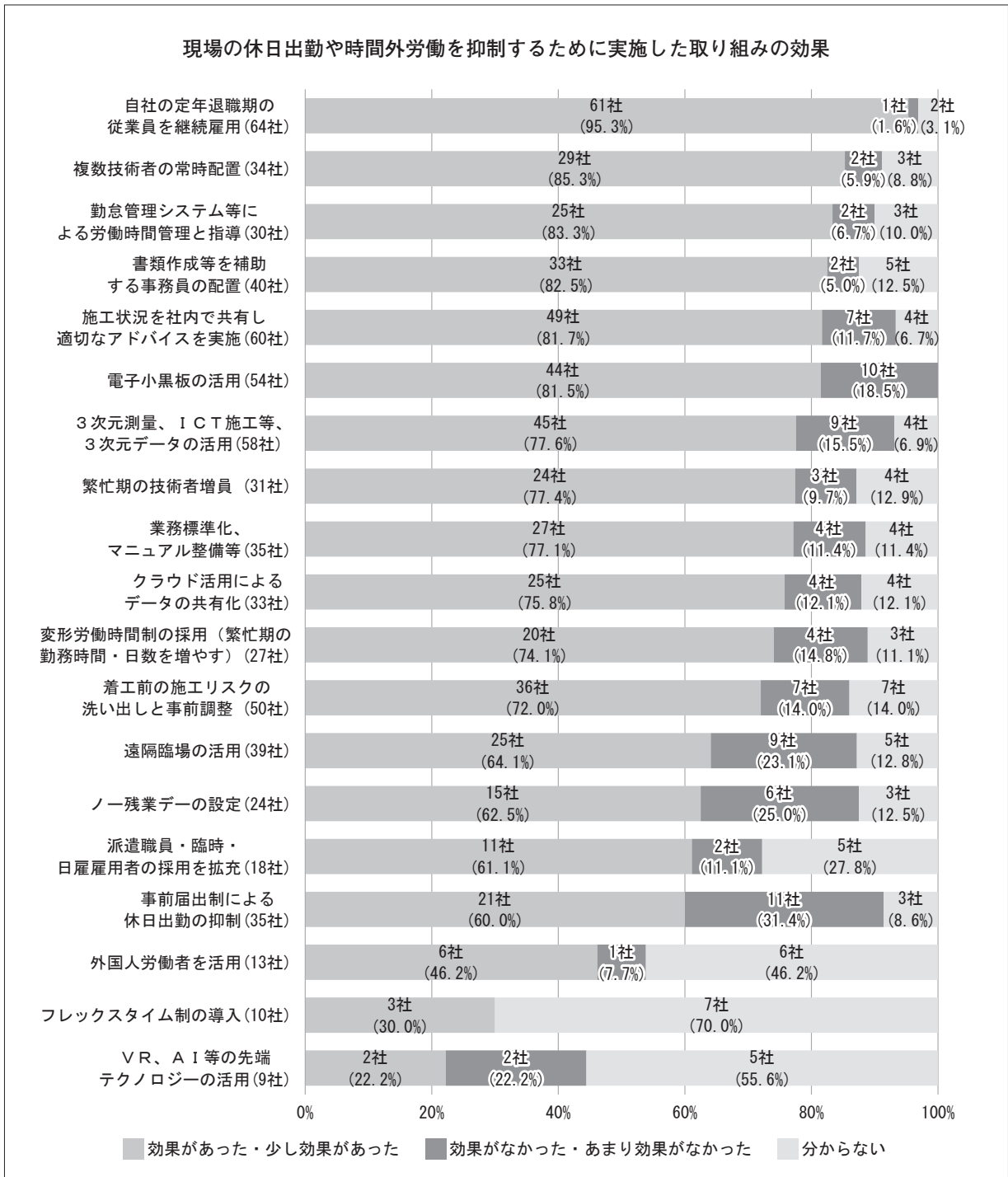
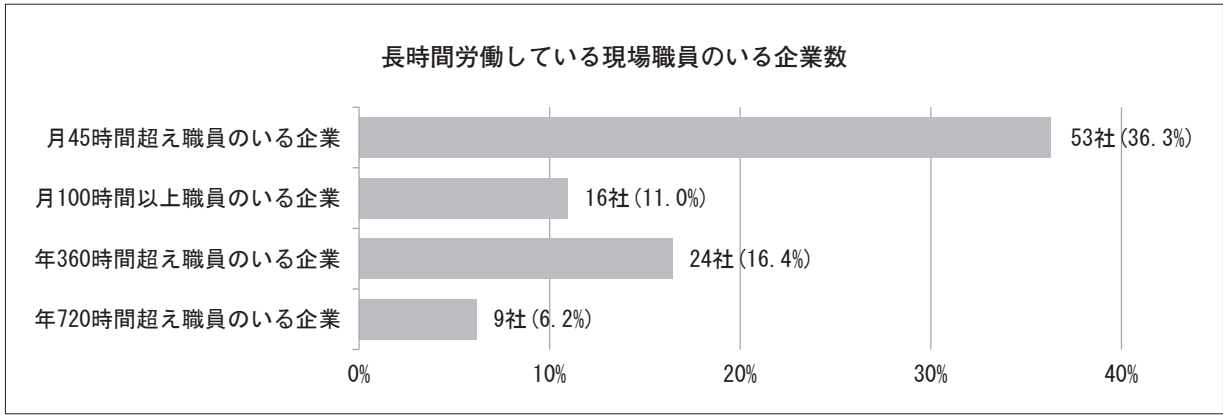


3. 常用雇用者である現場職員（技術者・技能者）の賃金について

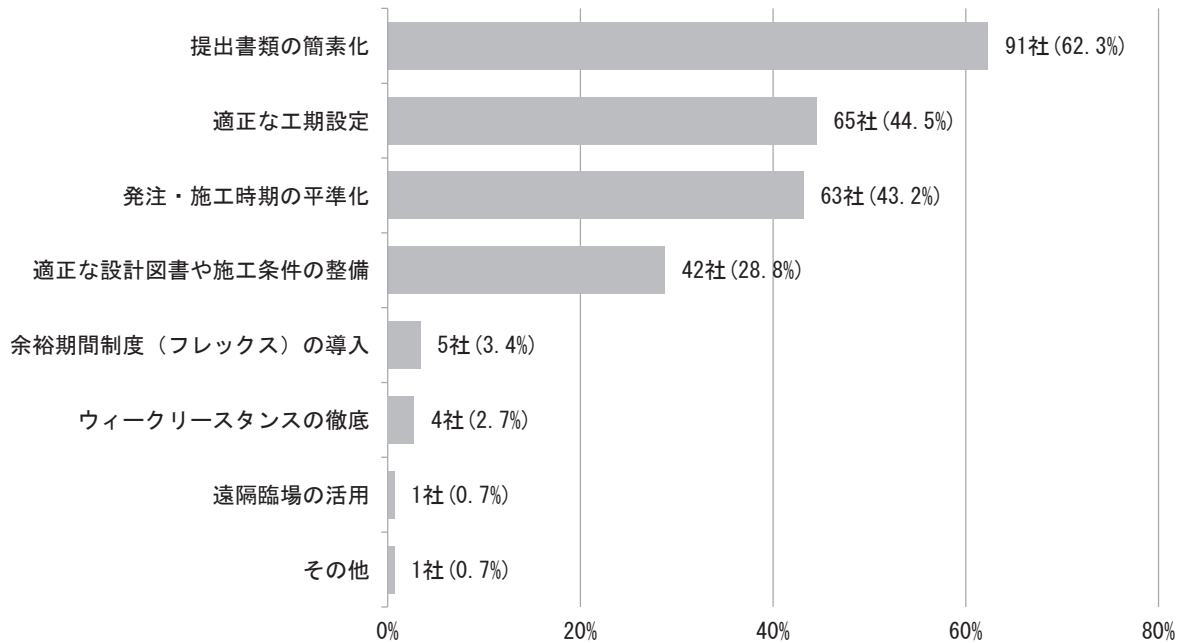


4. 建設現場における働き方改革（休日拡大と労働時間）について



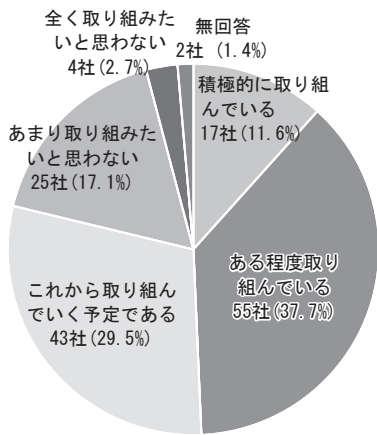


建設現場の時間外労働抑制のために発注者に望むこと

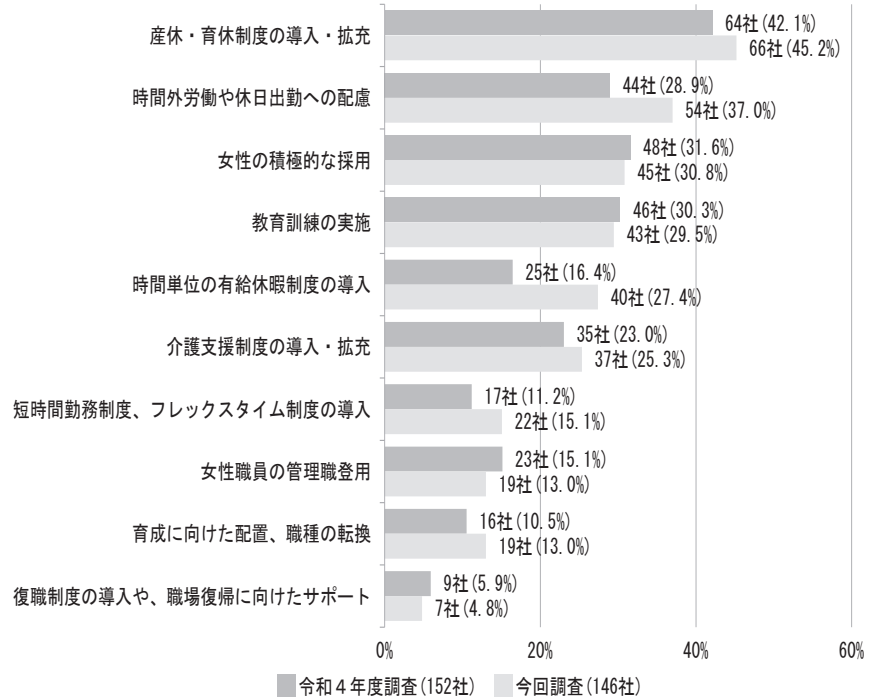


5. 建設業における女性の定着促進について

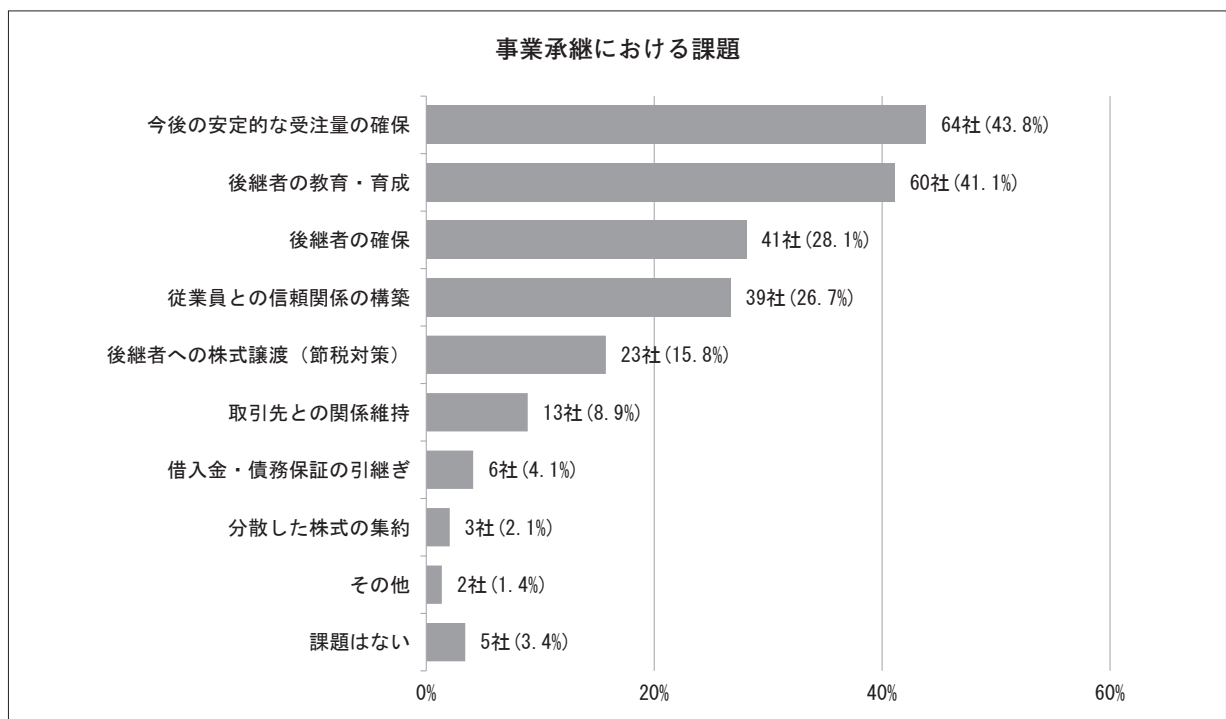
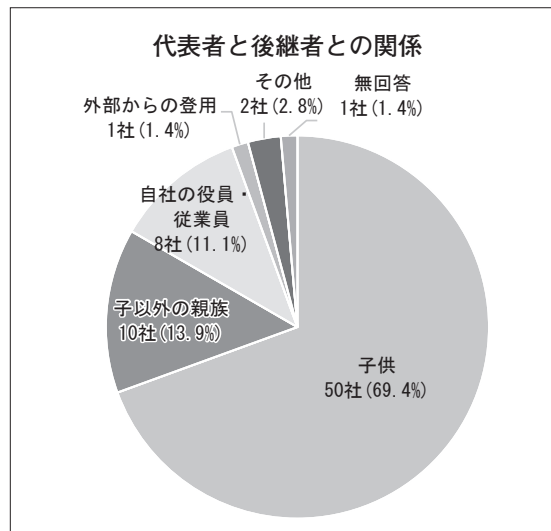
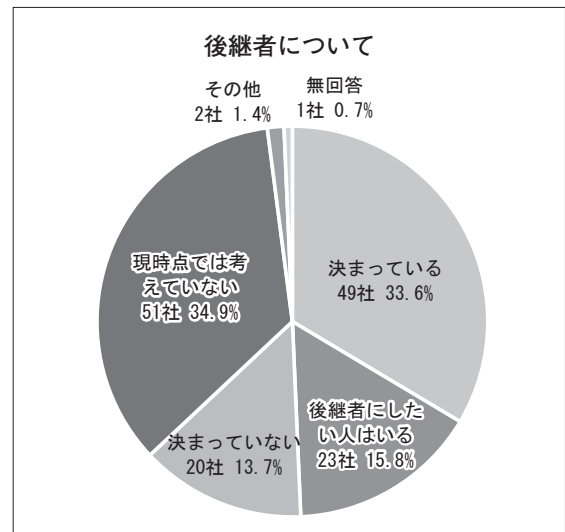
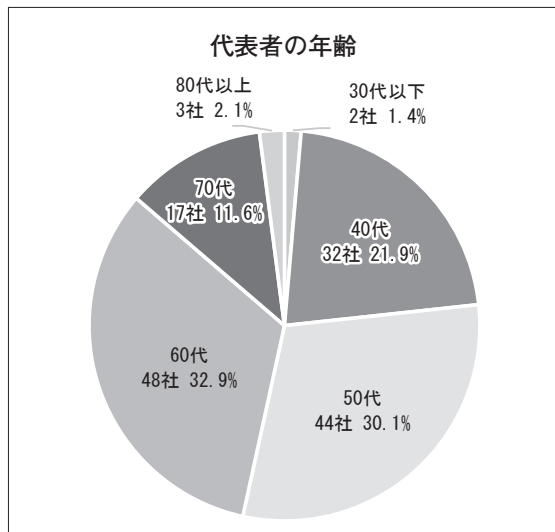
女性の定着促進についての対応



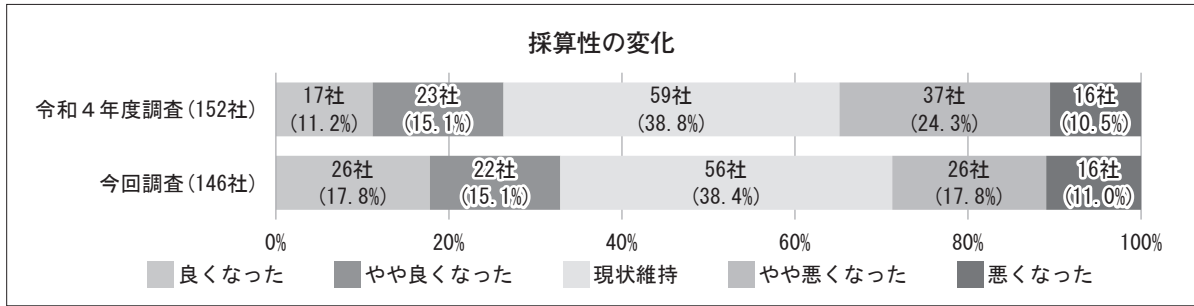
女性の定着促進に関して実施している取り組み内容



6. 事業承継について



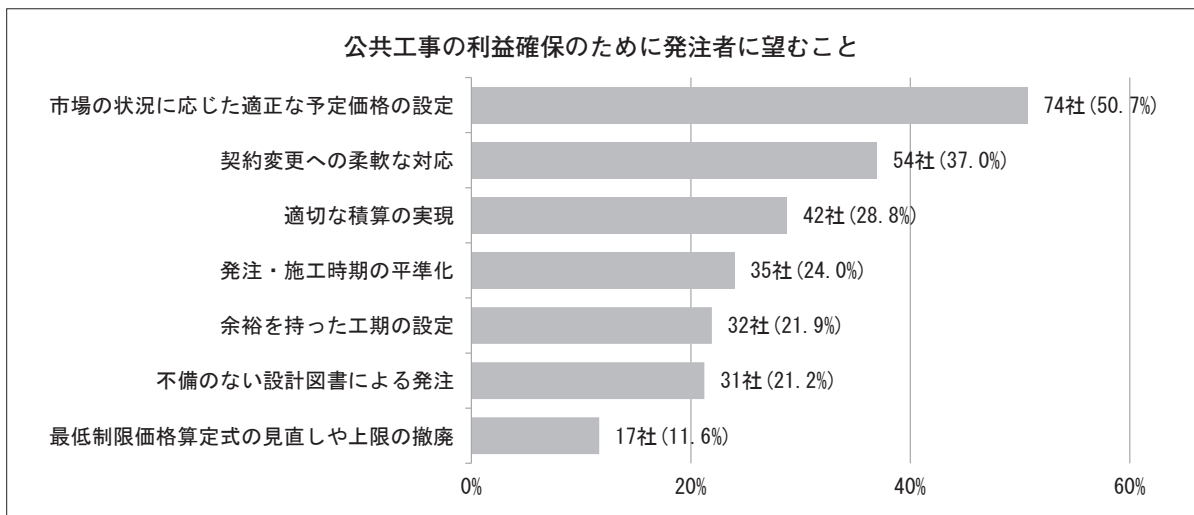
7. 採算性について



赤字の発生理由 (発注者別)

	北陸地方整備局(土木) 2社	石川県(土木) 31社	石川県(建築) 3社	石川県(農林水産) 12社	石川県内の市町 29社
労務費の値上がり	0社 (0.0%)	11社 (35.5%)	1社 (33.3%)	3社 (25.0%)	11社 (37.9%)
材料費の値上がり	1社 (50.0%)	15社 (48.4%)	1社 (33.3%)	4社 (33.3%)	11社 (37.9%)
発注者の積算漏れ	0社 (0.0%)	3社 (9.7%)	1社 (33.3%)	1社 (8.3%)	2社 (6.9%)
積算単価の乖離	2社 (100.0%)	12社 (38.7%)	1社 (33.3%)	7社 (58.3%)	13社 (44.8%)
増額変更が無かった	0社 (0.0%)	6社 (19.4%)	0社 (0.0%)	2社 (16.7%)	9社 (31.0%)
発注者都合の工期延長	1社 (50.0%)	7社 (22.6%)	0社 (0.0%)	1社 (8.3%)	5社 (17.2%)
発注者都合の着工遅れ	0社 (0.0%)	2社 (6.5%)	0社 (0.0%)	0社 (0.0%)	1社 (3.4%)
発注者の対応(ワンデーレスポンス)が不十分	1社 (50.0%)	4社 (12.9%)	0社 (0.0%)	0社 (0.0%)	2社 (6.9%)
受発注者間の情報共有不足	0社 (0.0%)	1社 (3.2%)	0社 (0.0%)	0社 (0.0%)	0社 (0.0%)
自社の責任による赤字発生	0社 (0.0%)	5社 (16.1%)	0社 (0.0%)	2社 (16.7%)	6社 (20.7%)
その他	0社 (0.0%)	2社 (6.5%)	1社 (33.3%)	3社 (25.0%)	3社 (10.3%)

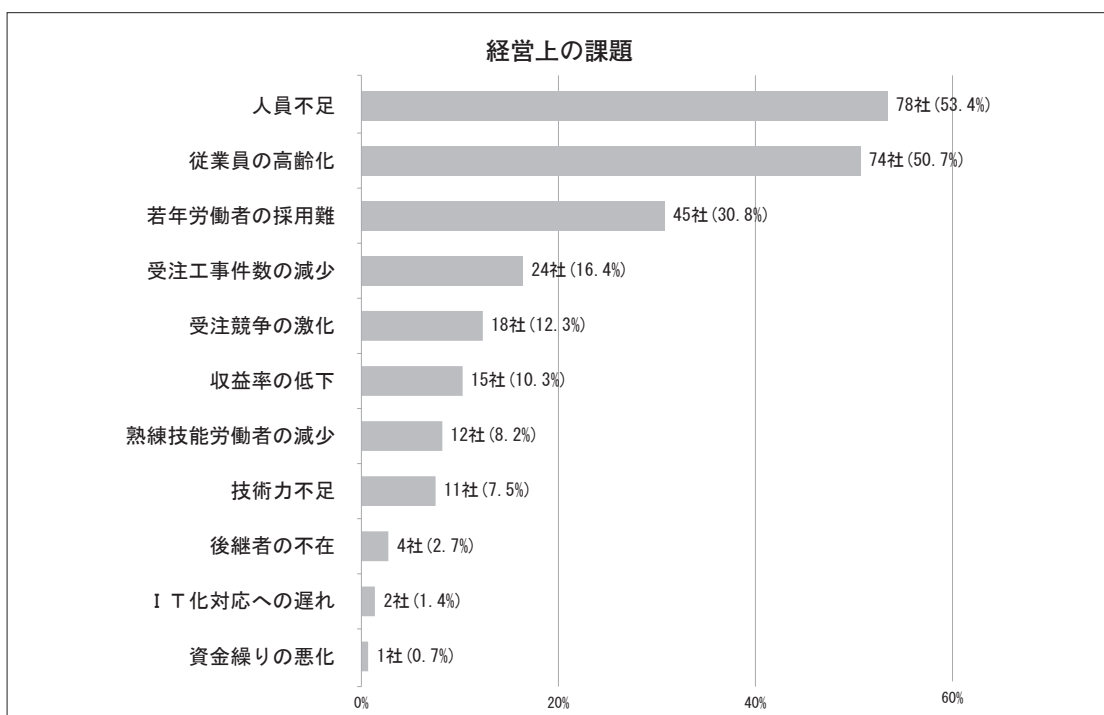
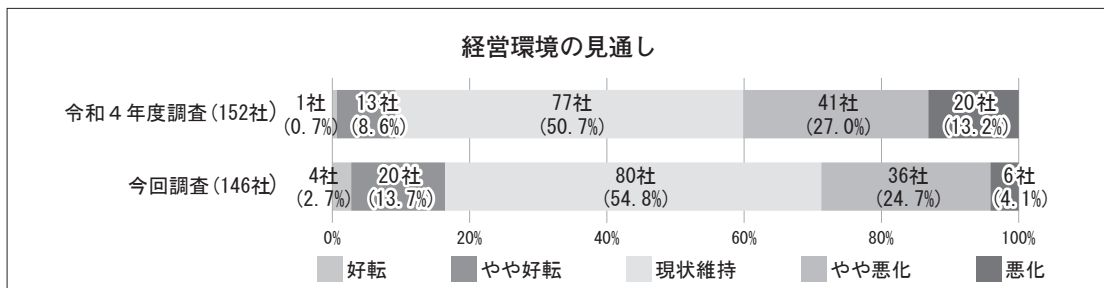
※回答率が30%を超える項目を色付きで表示している。



8. 発注者の対応について

分類	北陸地方整備局 26社			石川県 135社			石川県内の市町 133社		
	良い	普通	悪い	良い	普通	悪い	良い	普通	悪い
① 予定価格の設定	10社 38.5%	16社 61.5%	0社 0.0%	25社 18.5%	101社 74.8%	9社 6.7%	13社 9.8%	92社 69.2%	28社 21.1%
② 工期の設定	8社 30.8%	17社 65.4%	1社 3.8%	19社 14.1%	105社 77.8%	11社 8.1%	11社 8.3%	104社 78.2%	18社 13.5%
③ 設計変更への対応 (請負代金)	14社 53.8%	12社 46.2%	0社 0.0%	22社 16.3%	98社 72.6%	15社 11.1%	6社 4.5%	87社 65.4%	40社 30.1%
④ 設計変更への対応 (工期)	12社 46.2%	14社 53.8%	0社 0.0%	23社 17.0%	100社 74.1%	12社 8.9%	9社 6.8%	104社 78.2%	20社 15.0%
⑤ 発注・施工時期の平 準化	8社 30.8%	17社 65.4%	1社 3.8%	13社 9.6%	98社 72.6%	24社 17.8%	4社 3.0%	91社 68.4%	38社 28.6%
⑥ 受発注者間の情報 共有(三者会議等)	10社 38.5%	15社 57.7%	1社 3.8%	15社 11.1%	108社 80.0%	12社 8.9%	8社 6.0%	109社 82.0%	16社 12.0%
⑦ 発注者の対応(ワン デーレスポンス)	6社 23.1%	19社 73.1%	1社 3.8%	16社 11.9%	97社 71.9%	22社 16.3%	6社 4.5%	102社 76.7%	25社 18.8%
⑧ 工事工程表や現場 施工条件の明示	7社 26.9%	18社 69.2%	1社 3.8%	13社 9.6%	114社 84.4%	8社 5.9%	5社 3.8%	115社 86.5%	13社 9.8%

9. 経営環境の見通しについて



10. まとめ いしかわの地域を支える建設業であるために

①担い手の確保・育成

技術職、技能職が慢性的に不足している状況に加え、50代以上の就業者が約半数を占めており、就業者の高齢化が今後10年で更に進むと見られることから、若手就業者の増加は喫緊の課題である。しかし、新卒採用の充足率が約4割に留まる一方、入職から3年以内の離職率は約3割と高く、若手就業者の採用・定着は厳しい状況である。このため、各企業においては、積極的な採用活動を行うとともに、建設企業が誇りとやりがいのある魅力的な職場となるよう、給与、休暇、福利厚生等の処遇改善、働きやすい職場環境の実現、計画的な人材育成・キャリア形成支援などの取り組みを進める必要がある。

②災害対応可能人員、除雪オペレータの確保

災害対応可能人員、除雪オペレータの年代構成は、就業者全体と同様、50代以上が約半数を占めており、今後の高齢化が懸念される。また、5年前に比べて対応できる人員が減ったため、3割を超える企業が人員不足を訴えている。就業者の高齢化は、災害対応要員、除雪オペレータの高齢化につながる。「地域の守り手」の役割を果たすためにも、若手、中堅就労者の確保が必要である。

③持続的な賃上げ

常用雇用者である現場職員（技術者・技能者）の賃上げ（給与総額）については、2022年度では約9割の企業が「引き上げた」と回答しており、2023年度についても約8割の企業が「引き上げる」と回答している。政府は所得と分配の好循環による経済成長の実現に向けて、経済界に持続的な賃上げを求めており、建設業においても担い手の確保・育成のためにも賃上げを進めていく必要がある。建設企業が賃上げの原資として適正利益を将来に向け安定的に確保できるよう、発注者には「中長期的な公共投資の確保」、「賃上げに合わせた労務単価の向上」等を求めていく。

④建設現場における働き方改革の推進

「目指せ週休2日+360時間運動」の呼び掛けの結果、各企業における週休2日実現への取り組みは着実に進んでいるが、依然として完全週休2日または4週8休の企業は半数に満たない。市町・民間では週休2日工事の実施率が低く、このことが休日拡大の阻害要因の一つとなっている。各企業には引き続き現場の週休2日実現に向けての取り組みを働きかけるとともに、休日拡大は受発注者が一体となり対応を進める必要があり、特に市町・民間で週休2日工事が普及・拡大するよう、関係各所へ働きかける。

また、2024年4月から「時間外労働の罰則付き上限規制」が建設業にも適用されるが、2022年度において時間外労働の上限である月45時間・年360時間を超える企業が少なからず存在していた。企業には現場技術者の負担軽減のために、複数技術者の配置、OB活用によるベテラン技術者の確保、バックオフィスによる書類作成業務の支援、ICTの活用による生産性向上等、組織全体でサポートする取り組みを働きかけるとともに、発注者には「提出書類の簡素化」、「適正な工期設定」、「発注・施工時期の平準化」を求めていく。

⑤建設業における女性の定着促進

女性職員の定着促進に取り組む企業は増加しているものの、全就業者に占める女性の割合は約16%と依然低い状況である。また、女性活躍・子育て支援制度への取り組み実績のある企業は約5割にとどまっており、企業間の取り組みに差が見られる。

女性が働きやすい・働きたいと思える職場環境の実現から、多様な人材が活躍できる働きがいのある魅力的な職場環境の実現、ひいては建設業の魅力向上に向けて、女性部会「百万石小町『結』」の活動などを通じた女性の定着促進に関する制度、活動の周知を引き続き進めていく。

⑥円滑な事業承継

代表者が60代以上の企業が全体の半数近くを占めており、そのうちの約3割の企業が後継者未定の状態である。近年、事業承継への関心が高まっているが、特に建設業では「地域の守り手」として空白地域を作らないためにも、円滑な事業承継が焦眉の問題となる。また、後継者等が決まっている企業の8割以上が親族内承継を想定しているが、これから後継者を考える企業は、家族・親族に後継者となるべき人が見つからない場合は、自社の役員・従業員への承継、外部人材の登用など、さまざまな手段を検討する必要がある。

⑦入札・契約制度の更なる改善

担い手の確保・育成、働き方改革の推進には経営の安定化が不可欠であり、そのためには、企業の努力だけでなく、「工事ごとに利益の確保が可能な入札・契約制度の改善」が重要である。積算単価の乖離、材料費の値上がり等による赤字工事が多いことから、発注者には「市場の状況に応じた適正な予定価格の設定」、「契約変更への柔軟な対応」等を求めている。

また、「発注・施工時期の平準化」、「ワンデーレスポンス」等の対応を十分理解していない発注者が多いことから、新・担い手3法の内容が全ての発注者に浸透し適用されるよう、引き続き、発注者に対して更なる入札・契約制度の改善を求めている。

⑧最後に（いしかわの地域を支える建設業であるために）

我が国は、円安や世界各地における安全保障環境の悪化等に起因する資機材価格の高騰・品薄などの影響を大きく受けたほか、気候変動の影響により近年頻発・激甚化している豪雨・台風等の災害が全国各地に甚大な被害をもたらすなど、様々な問題に直面している。本県でも2024年1月に発生した「令和6年能登半島地震」により甚大な被害を受けた。本県建設業は社会資本整備・維持管理を通じて県民の生活や経済活動を支えるとともに、災害や除雪等に迅速に対応する「地域の守り手」としてその役割を果たしていく必要がある。そのためには、安定的・持続的な事業量を確保できるよう、社会資本整備の着実な推進を引き続き訴えていく。

また、2024年4月から適用される「時間外労働の罰則付き上限規制」に適切に対応するほか、建設業で働く人々が働きやすさや働きがいを感じられ、建設業を目指す若者が「働きたい」と思える産業となるよう、働き方改革と生産性向上を両輪とした就労環境の改善を進めていかななくてはならない。今後も引き続き、持続的な賃上げ、週休2日に向けた休日拡大、時間外労働の削減、女性の定着促進、ICT活用・DXなど諸課題の解決に取り組んでいく。

建設技術研修所

◎新入社員向け IT 研修会の開催

開催日時 令和6年4月8日(月)・9日(火) (第1回)
令和6年4月10日(水)・11日(木) (第2回)
開催場所 石川県建設総合センター
参加者 31名

概要

新入社員を対象としたIT研修会を開催しました。

講師に株式会社G Successの北野雅史氏をお迎えし、建設業界における電子納品、i-Construction、リモートワーク、遠隔臨場などの最新IT技術等について学びました。体験コーナーも設け、リモートワーク環境等、建設業界のIT化を実体験しました。

受講者からは、「建設業界のIT化がこんなに進んでいるとは知らなかった。これから学ぶことがたくさんある。」「実際に操作しながら学べたので、理解しやすかった。」「セキュリティ対策の重要性を改めて認識した。」等の意見がありました。新入社員向けIT研修会は、来年度以降も開催予定です。



講習



体験コーナー

◎第46回測量コンテスト開催案内

測量の基礎技術の向上を目指すとともに親睦をはかるため、測量コンテストを開催します。今年度も企業個人戦に高校生チームが参加予定です。また各地区協会代表による団体戦も行いますので各地区協会には代表チームの選定をお願いいたします。このコンテストはCPD・CPDS(4ユニット)対象予定です。

- ・開催日時 令和6年6月4日(火) 9:30~13:00(小雨決行)
受付開始 9:00~ 雨天の場合6月10日(月)に順延します。
- ・開催場所 金沢市ものづくり会館 及び隣接 ふれあいゴルフ広場内
(金沢市栗崎町4-80-1 TEL:(076)255-1518)

競技区分	競技種目
各地区協会代表による団体戦	水準測量
企業チーム・高校生チームによる個人戦	水準測量

- ・締切日 5月15日(水)
- ・参加料 1チーム3,000円。後日請求書を送付します。
- ・申し込み 一般社団法人石川県建設業協会 建設技術研修所 担当:本多
TEL:(076)242-1161 FAX:(076)241-9258
- ・主催 一般社団法人石川県建設業協会
- ・共催 一般社団法人石川県測量設計業協会(講師・指導・審査の担当)

石川県総合建設業協同組合だより

商工中金からの感謝状受賞

石川県総合建設業協同組合は、本年、設立50周年を迎えるにあたり、4月17日(水)、商工中金から永年にわたる組合員発展への尽力及び地域経済の発展への多大な貢献に対する感謝状を賜りました。

商工中金の花崎純一金沢支店長が当組合を訪れ、「永年にわたり、共同事業を実施され、地域経済の発展にご尽力いただいております。」との感謝の言葉とともに、平櫻 保理事長に感謝状が手渡されました。

その後、能登半島地震の災害対応や、来年からの商工中金の民営化等について意見交換を行いました。



関係機関からのお知らせ

＼安全にご利用いただくため／

令和6年4月1日から

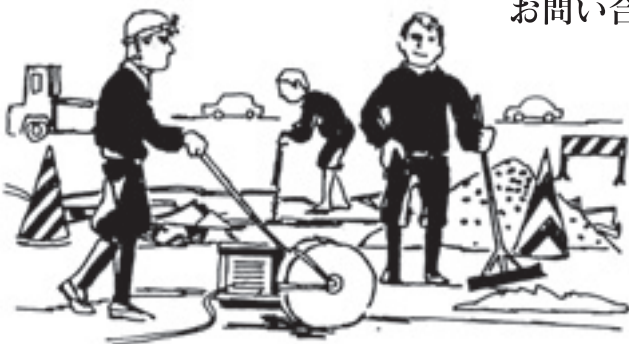
自転車保険が義務化!

●お問合せ 石川県生活環境部生活安全課 ☎076(225)1387

不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度
自動車保険

お問い合わせは・・・



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン株式会社
損保ジャパンパートナーズ株式会社

TEL 076-231-7786

FAX 076-231-7766

〒920-0919 金沢市南町5-20
中屋三井ビル2F

2023年度第4回 建設業景況調査（石川県版）

東日本建設業保証（株）石川支店

<概要>

- 官公庁工事は、「減少」傾向が強まっている。
来期は、「減少」傾向が弱まる見通し。
- 受注総額は、「減少」傾向が強まっている。
来期は、「減少」傾向が弱まる見通し。
- 建設労働者の確保は、「困難」傾向が強まっている。
来期は、「困難」傾向が続く見通し。

【今期：前期（2023年10～12月）に比べた今期（2024年1～3月）の状況】

【来期：今期（2024年1～3月）に比べた来期（2024年4～6月）の状況】

項 目	前期	今期		来期		
		B.S.I.値	推移方向 (前期比)	B.S.I.値	推移方向 (今期比)	B.S.I.値
(1)業 況 等	地元建設業界の景気※	▲7.0	↘	▲13.0	↗	▲7.5
(2)受 注	受 注 総 額※	▲5.0	↘	▲13.0	↗	▲8.0
	官 公 庁 工 事※	▲4.5	↘	▲14.0	↗	▲7.5
	民 間 工 事※	▲5.5	↔	▲5.5	↘	▲10.5
(3)資 材	資 材 の 調 達※	▲5.0	↘	▲11.0	↘	▲14.0
	資 材 の 価 格	33.0	↘	31.5	↗	32.5
(4)労 務	建 設 労 働 者 の 確 保※	▲20.5	↘	▲28.5	↘	▲29.5
	建 設 労 働 者 の 賃 金	25.5	↘	22.5	↔	22.5
(5)収 益	※	▲14.5	↗	▲10.5	↗	▲8.5

(注)・B.S.I.値のプラスは、良い、増加、容易、上昇の傾向を示す。
・B.S.I.値のマイナスは、悪い、減少、困難、下降の傾向を示す。
・表中の※印は、季節調整項目を示す。

【B.S.I.の見方】

B.S.I.(ビジネス・サーベイ・インデックス=景況判断指数)は、「良い」「悪い」など意識調査の回答数の構成比から全体の趨勢を判断するものです。以下の計算式により数値化して求められます。

$$\frac{(\text{「良い」}と回答した企業割合 - \text{「悪い」}と回答した企業割合)}{2} \times 1/2$$

※「変わらず」は除いて計算

お問い合わせ先

東日本建設業保証(株) 石川支店 TEL: 076-242-1231



建設事業主のみなさん

「建設技能者の人材確保・育成」「現場作業員の福祉の向上」
のために建退共制度に加入しませんか!

建設業の退職金は
日本全国どこの現場でも
公共工事も民間工事も

建退共



独立行政法人 勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部
〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL 03-6731-2866



建退共



お問い合わせは

建退共石川県支部

〒921-8036 金沢市弥生2-1-23 (石川県建設総合センター1F)
TEL076-242-2608(代) FAX076-241-9258

ますます安心。充実の制度。



契約者割戻金制度が始まっています。

契約者
割戻金制度により
**掛金負担が
軽減**

手厚い補償
保険金区分合計
最高**5,000万円**

労働者と企業の
**リスクを
カバー**

社員と家族、会社を守るために。

建設共済保険

法定外労災補償制度

今すぐ、ご加入を!

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人

建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー 11階

■ 取扱機関：(一社)石川県建設業協会
〒921-8036 金沢市弥生2-1-23
Tel. 076-242-1161 Fax. 076-241-9258



正確な掛金の試算や資料請求はこちらまで



0120-913-931

受付時間 午前 9:00 ~ 午後 5:00 (土日祝を除く)

建設共済保険

検索

<https://www.kyousaidan.or.jp/>



この冊子は、植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用した印刷物です。